

抽苔が遅い春作用ヒロシマナ品種 「晩抽広島3号」

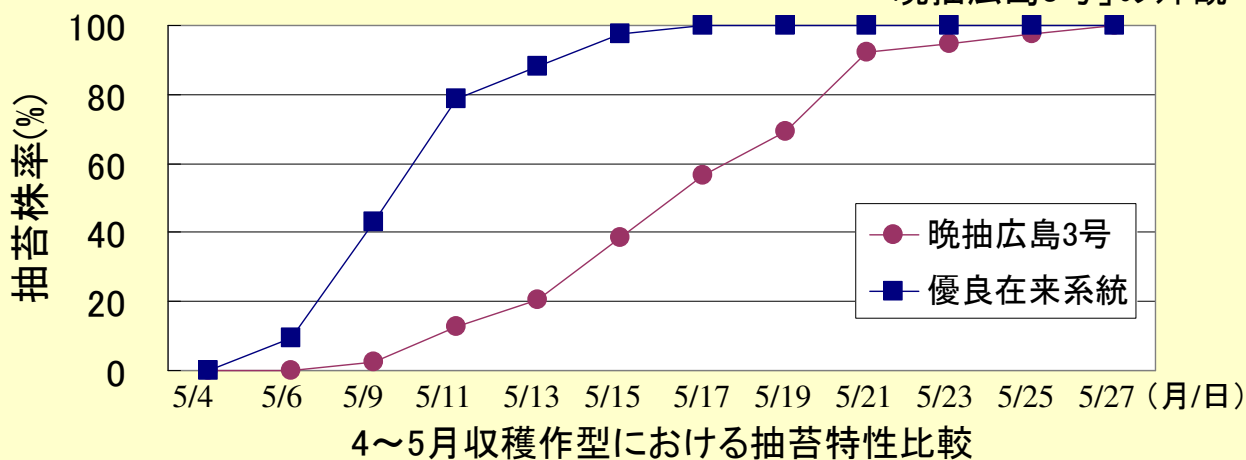
ヒロシマナは春に花茎が伸長(抽苔)すると、品質が低下するため、抽苔前に収穫する必要があります。そのため産地からは収穫期間延長のために、春作用の抽苔の遅い(晩抽性)品種が望まれています。そこで、これまでの品種より7日程度抽苔の遅い「晩抽広島3号」を育成しました。

○「晩抽広島3号」の特徴

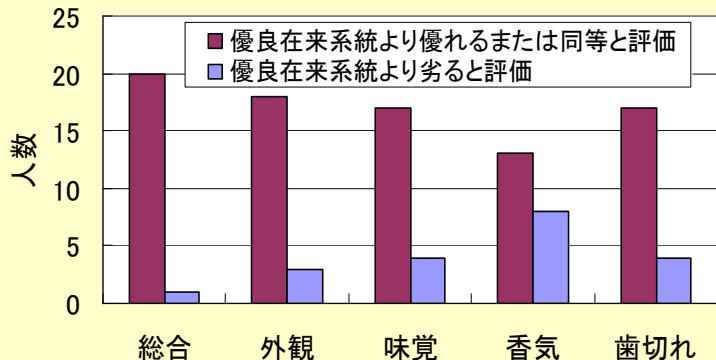
- ★ヒロシマナと晩抽チンゲンサイとの交配により育成しました。
- ★優良在来系統より7日程度抽苔が遅い。
- ★外観特性および漬物加工後の食味は優良在来系統とほぼ同等です。
- ★温暖地における1~2月収穫作型でも利用可能です。



「晩抽広島3号」の外観

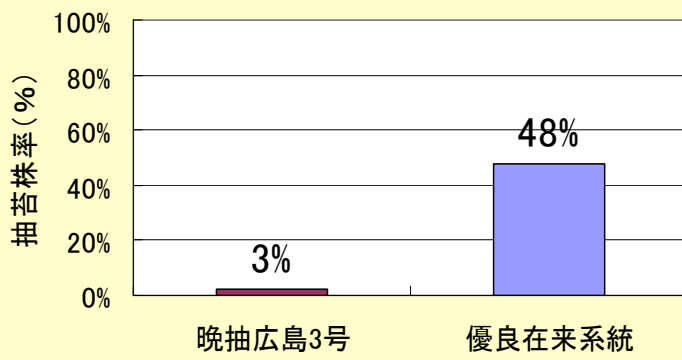


試験場所: 東広島市八本松町, 播種: 1月28日, 定植・トンネル: 2月24日, トンネル除去: 4月8日



「晩抽広島3号」の食味評価

パネル21名による優良在来系統を対照とした官能評価



1~2月収穫作型における抽苔特性

試験場所: 広島市安佐南区, 播種: 10月1日,

定植: 10月18日, 調査: 1月28日